



ごみゼロ社会 をめざそう

4つのRで始まるキーワード

- ① 断る Refuse
- ② 減量 Reduce
- ③ 何度も使う Reuse
- ④ 分別徹底 Recycle

<http://www.city.hino.lg.jp/>

発行 日野市環境共生部
クリーンセンター
ごみゼロ推進課
☎ 581-0444
FAX 586-6606

作戦開始!

容器包装 お返し大作戦!

容器包装 断る・返すで ごみ減量

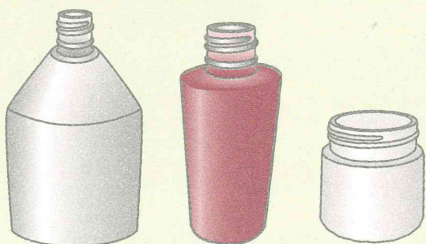


リサイクルに巨額の税金が使われている。そこで、買ったお店の店頭回収に返しましょう!

ペットボトル、トレー類、牛乳パック、新聞紙…これらの資源物を皆さんは市の回収に出していますか? 日野市では、リサイクルに毎年約7億円もの税金が使われています。500ミリのペットボトル1本を市の回収に出すと、約6円税金が使われる計算です。商品の生産者が商品のリサイクルや処分にも責任を負うことを「拡大生産者責任」と言いますが、これを機能させて、ごみや資源物の少ない商品を作るように生産者に求めることが大切です。(2面に続く)

分別 お悩み クイズ

Q あなたはどのように出していますか?



化粧品のガラスびん

答えは、この冊子内のどこかに掲載されています

今号の主な内容

- 「いなげや」レジ袋収益を 小学校に還元……………2面
- 最小値を更新 平成20年度のごみ量報告……………3面
- 第2次ごみゼロプランの概要……………4～5面
- 市民のページ 「生ごみを減らす7つの方法」 ……6～7面
- 家庭で生ごみをリサイクルされている方に 「生ごみリサイクルステッカー」 ……8面

（1面からの続き）
■そこで「容器包装お返し大作戦！」
市民の皆さんにご協力いただくことは、次の2点です。

①ペットボトル・トレー・牛乳パックなどは、市の回収に出さず買ったお店の店頭回収に返す

マイバッグに、お店へ返すペットボトル・トレー類・牛乳パックなどの資源物を入れて行き、買った商品をマイバッグに入れてお帰りでください。合言葉は「買い物には行きも帰りはマイバッグ！」です。

②新聞紙は、市の回収に出さず、新聞販売店の販売店回収に出す

新聞販売店の回収のほか、自治会や子ども会などで行っている「集団回収」も併せてご利用を。

■市の回収を減らしていく予定

積極的に販売店等への回収を促すため、ペットボトル・トレー類については、現在の2週に1回の回収から4週に1回に回収を減らすことを検討しています。

市民の皆さんのご理解・ご協力をお願いします。

「いなげや」からレジ袋 収益金を小学校に還元

市と「日野市ごみ減量推進市民会議」の要請にこたえて、(株)いなげやが市内3店舗でレジ袋の無料配布中止を実施しています。



マイバッグ持参率は順調に推移していますが、レジ袋の販売（1枚5円）による収益金を市民に還元するため、3つの小学校に環境教材が贈呈されました（写真は一小）。市内では「コープとうきょう」もレジ袋無料配布中止に取り組んでいます。

引き続き、お買い物にはマイバッグを持参して環境にやさしいお店を応援し、レジ袋無料配布中止を市内全域に広めましょう。

▽贈呈内容 一小：角型水槽とアクアリウム（水生生物の飼育設備）／四小：マルチ環境測定器とタモ網／東光寺小：校内ビデオ

プ（野生生物の生息空間）で使用する水中ポンプ

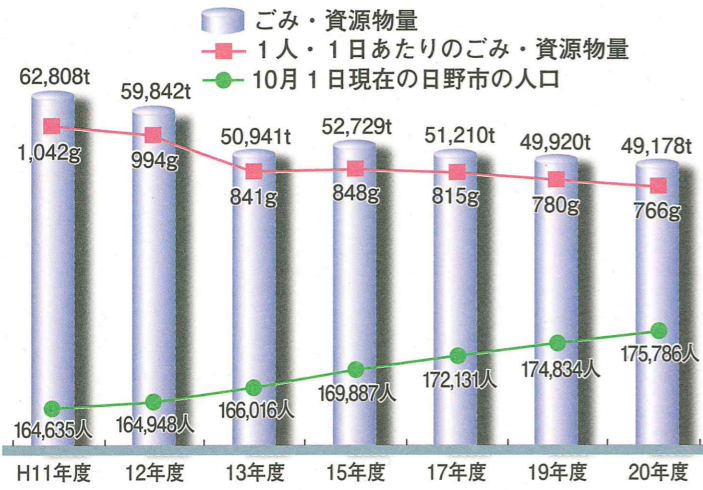
クリーンセンターの建て替え

昨年2月の汚泥再生施設建設工事の着工によって、クリーンセンターの建て替え計画は本格的にスタートしました。新焼却炉の稼働は当初、平成27年を予定しましたが、平成31年の稼働に変更しました。

焼却炉の耐用年数はおよそ20年。現在の焼却炉（写真）は既に22年が経過して



いますが、ダイオキシン削減対策工事・延命化対策修繕等の効果や、「ごみ改革」によるごみ量の減少によって、焼却炉の耐用期間の延長が可能となり、厳しい財政状況も考慮して延期しました。今後も更なるごみ減量をお願いします。



平成20年度のごみ量が確定 一人1日あたりのごみ量 過去最小値 3年連続

平成20年度のごみ量は、平成19年度に比べて、ごみ・資源物の総量が742トンを減少して4万9千178トトン。一人1日あたりの排出量も14グラム減って766グラムとなり、3年連続して、ごみ改革後最小値の良い結果になりました。ご協力ありがとうございます。

しかし、各自治体も努力してい

資源物の「びん」の回収は、これまで「不燃ごみ」として扱っていた「化粧品ガラスびん」は、7月から「資源物のびん」として回収しています。ガラスに色がついていても構いません。次のルールに従って、従来の飲料・調味料のガラスびんと一緒にお出しください。なお、マニキュアの容器、板ガラス、コップ、耐熱ガラス、ほ乳瓶、茶碗などの陶磁器は従来どおり不燃ごみです。

化粧品のガラスびん

資源物の「びん」の回収は

▽ルール ①中身をよく洗う（異物を入れない）②キャップ類はなるべく外して不燃ごみへ（ラベルは貼ったままでも良い）③かごなどに入れて、はだか出しにする（袋に入れない。飲料・調味料のびんと同一のかごで良い）

収集しません

商店や事業所からの「家庭用」袋

1回の排出量が90リットル相当分までの少量排出の事業所は、日野市指定の事業系ごみ専用袋で市の収集に出すことが出来ます（申込制）。しかし、家庭用の指定収集袋で出している商店や事業所がまだ見受けられます。正しい排出をお願いします。



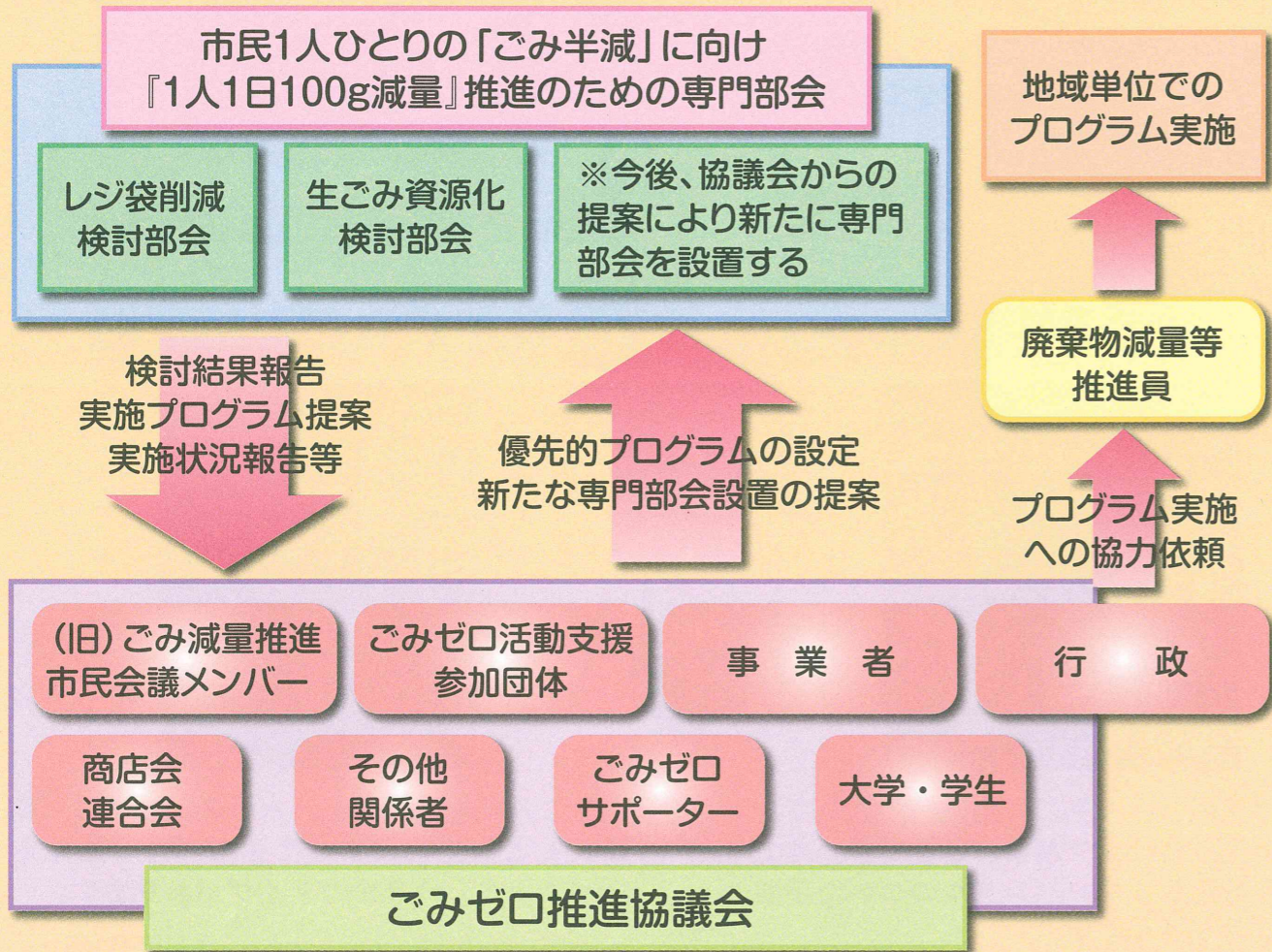
スーパーやコンビニのごみ箱に 家庭のごみを持ち込むのはやめましょう 一部のお店から苦情が寄せられています。ごみや資源物の排出はルールを守ってマナー良くお願いします。

収集作業員が 負傷 刃物や割れたガラスなどを出すときは、紙や布などに包んで不燃ごみの袋の中に入れて、表示をしてください。指定袋に入れる 紙や布に包む

ごみ、資源物を出す時刻は？ 全て収集日の朝8時までに出して！ ごみ、資源物は、それぞれ収集業者が別で、収集に伺う時刻も別々です。出し遅れた物を後から来る他の業者が収集することはできませんので、当日の収集品目全てを朝8時までにお出しください。

次号のこの情報誌に 広告を載せませんか？ ①縦4.5cm×横9.0cm(この枠の大きさ) ②縦4.5cm×横18.5cm 掲載料(予定)①…2万5千円 ②…5万円 詳細は、ごみゼロ推進課(☎581-0444)へ

計画推進の仕組み



基本的な考え方

- ① **地球温暖化対策・CO₂削減への対応**
ごみゼロ活動によって温暖化をはじめとする地球環境問題への対応を図ります。
- ② **4Rの推進**
リフューズ(発生回避)・リデュース(発生抑制)・リユース(再利用)・リサイクル(再生利用)の4Rに取組みます。
- ③ **市民・事業者・行政の連携と協働**
市民・事業者・行政がそれぞれの役割を果たすと同時に、連携・協力しごみゼロ社会を目指します。

基本方針

第2のごみ改革宣言！
多摩地域で一番少ないごみ排出量を目指す
☆市民一人ひとりの『ごみ半減』に向け一人1日100g減量☆

～原点にたちかえり更なる減量～



『第2次日野市ごみゼロプラン』まとまる

ごみ減量の目標値や、実践的な行動計画を示した『ごみゼロプラン』。第1次プランの策定から約7年が経過し、市民・事業者等(約50名)・行政の3者協働でごみゼロプラン見直し会議を発足させて全18回の会議を重ね、この度、第2次プランが完成しました。

第2次日野市ごみゼロプランの特徴は、①市民・事業者・

行政の役割を明確にし、一人ひとりの小さな取り組みを大きな減量につなげていく仕組み『一人1日100g減量』推進のための専門部会の設置 ②ごみゼロプラン目標達成のための進捗管理の充実(ごみゼロ推進協議会「庁内評価チーム」においてプログラムの進捗・達成状況の確認や見直し・改善を基本的に毎年度ごとに行います)があげられます。

当面取り組むべき重点プログラム

- ☆ レジ袋無料配布中止の拡大
- ☆ 「容器包装お返し大作戦」の実行
- ☆ 生ごみの地域内循環方式の拡大
- ☆ 新聞紙の民間回収への移行
- ☆ PRR広報(啓発)活動の充実



第2次日野市ごみゼロプラン閲覧方法
 ごみゼロプランの詳細は、クリーンセンター、市内各図書館及び、市ホームページでご覧いただけます。

100名の市民が集合して 市民報告会

6月28日に生活・保健センターで行われた廃棄物減量等推進員研修会の中で「第2次日野市ごみゼロプラン市民報告会」(写真)を開催しました。当日は、推進員・ごみゼロプラン見直し会議メンバー等、約100名もの方々にお集まりいただき、ごみゼロプランの内容を報告することができました。

市民のページ **目指せ！みゼロ** **知恵袋** **Part17**

ごみ減量推進市民会議が企画・編集したコーナーです。

ごみ減量推進市民会議とは、「日野市ごみゼロプラン」を実行に移していく会議で、市民約20名で構成されています。

減らそう！
1人1日
あと100g!!

生ごみは資源です！
生ごみを減らす7つの方法

日野市から出るごみの半分が可燃ごみ。その約半分が生ごみです。もしその生ごみを可燃ごみに出さなくても済むようになると、日野市のごみは大幅に減ります。今回は、生ごみの減量と活用について研究している「ひの・まちの生ごみを考える会」から、生ごみを減らす7つの方法を紹介します。

※市民サポーターはボランティアのため、不在のことがあります。その場合は、ごみゼロ推進課にご連絡ください。

1 生ごみを干す



色々な方法があります

生ごみの約80%は水分。生ごみを焼却することは、水を燃やすことと同じです。天日で干すと、水分が減り無駄なエネルギーの節約になります。

>ご相談は市民サポーター吉田さん(☎ 592-6617)へ
中尾さん(☎ 593-8797)へ

2 畑や庭に直接埋める



生ごみを土に戻すと、微生物の力でフカフカの土になります。庭や畑に穴を掘り、生ごみを入れてよく混ぜたあと上から土をかぶせるだけで分解します。

>ご相談は市民サポーター小野寺さん(☎ 584-3675)へ
伊藤さん(☎ 587-0224)へ

3 コンポスト容器で堆肥化

水分を切った生ごみと土もしくは腐葉土をサンドイッチ状に交互に入れます。コンポスト容器の大きさは様々あるので、各家庭に合ったものを選びます。

>ご相談は市民サポーター伊藤さん(☎ 587-0224)へ
川崎さん(☎ 583-0859)へ



4 発泡スチロール箱で堆肥化

ベランダでもできる方法です。土または腐葉土を発泡スチロールの箱に入れておき、水を切った生ごみをそのまま入れてよくかき混ぜます。その上に新聞紙をかぶせてフタをします。少量なら毎日できます。

>ご相談は市民サポーター石田さん(☎ 583-8506)へ
小野寺さん(☎ 584-3675)へ



5 手動式生ごみ処理機(かえるくんなど)



電気を使用しない生ごみ処理機のこと、微生物の入ったチップ剤などと混ぜ合わせて生ごみを分解します。ハンドルのついた手回し式のものもあります。

>ご相談は市民サポーター國分さん(☎ 592-5102)へ

6 電動式生ごみ処理機



生ごみを加熱乾燥し、水分を除去する「乾燥式」と微生物によって生ごみを分解する「バイオ式」の2つのタイプがあります。

>ご相談は市民サポーター佐山さん(☎ 583-0648)へ
中尾さん(☎ 593-8797)へ

7 グループで生ごみを回収して野菜をつくる

第八小学校区域では、「まちの生ごみ活かし隊」というグループが現在160世帯の生ごみを戸別回収し、新井にある「せせらぎ農園」(コミュニティガーデン*)で発酵分解して無農薬・無化学肥料の元気野菜を作っています。

とっても簡単！
生ごみで元気野菜を作っています。



▲ 1週間に1度回収しています。



▲ 直接畑に投入し、土とよく混ぜて微生物の力で発酵を促します。



▲ 約1ヶ月で分解され臭いも形もなくなります。そこで、みんなで野菜や花をつくります。

*コミュニティガーデンとは、身近な空地や緑地を利用して住民の手で美しい景観をつくりだす庭や農園のことです。

>ご相談は市民サポーター 佐藤さん(☎ 594-0745)・山野さん(☎ 591-4374)へ。生ごみで元気野菜づくりのアドバイスや、グループ立ち上げなどのサポートも行っていますので、お気軽にご連絡を。

参加者募集

家庭で生ごみをリサイクルされている皆さんへ

「生ごみリサイクルステッカー」を掲示しましょう！

家庭で生ごみをたい肥にしたり、土に埋めたりして生ごみを減らすことは、資源が循環する社会をつくり、CO₂排出を減らして地球温暖化対策に貢献する、とても価値ある行動です。

そこで、市では、家庭での生ごみリサイクルの輪がどんどん広がるよう、また、生ごみを可燃ごみとして出さない人が市内にどの位いらっしゃるのかが分かるよう、玄関ドアなどに掲示する「生ごみリサイクルステッカー」（右図。直径7センチ）を市民と協働で作成しました。

生ごみをリサイクルされている方は、次のいずれかの方法でお申し込みいただき、ステッカーを掲示してください。



生ごみがいい土になっています



生ごみリサイクルステッカー申込方法

下記の内容をごみゼロ推進課に

FAX 586-6606 するか、
電話 581-0444 でお申し込みください。

生ごみリサイクル者氏名	住所	電話番号	処理方法	経験年数	所属団体
	日野市				

- #### リサイクル方法
- ① 生ごみを干す ② 畑や庭に直接埋める
 - ③ コンポスト容器や発泡スチロール箱などで堆肥化
 - ④ 手動式生ごみ処理機を利用
 - ⑤ 電動式生ごみ処理機を利用
 - ⑥ グループによる回収処理
 - ⑦ その他



お申込みをお待ちしています。

- #### 経験年数
- ① 1年未満
 - ② 1年以上3年未満
 - ③ 3年以上

市では、可燃ごみの半分を占める生ごみを減らすため、「生ごみリサイクルステッカー」の掲示以外にもさまざまな取り組みを市民との協働で行っています。ご協力をお願いします。

- #### 家庭での生ごみリサイクルの推進
- 家庭での生ごみリサイクルの呼びかけ
 - 生ごみ処理機器購入への補助
 - 生ごみリサイクルサポーターの養成

- #### グループによる生ごみ戸別回収・リサイクルの推進
- 現在、実施地域は、
- 第八小学校区域（畑に直接投入し、野菜作り）
 - 東光寺地区の一部（大型生ごみ処理機で堆肥化）